

令和3年7月定例会 教育長報告

◆7月の主な活動

- 15日 点検・評価に係る学識経験者との意見交換会（清水庁舎）〔教育長・委員〕
- 16日 高校総体 壮行会（静岡庁舎）〔教育長〕
- 26日 教育委員会定例会（静岡庁舎）〔教育長・委員〕
- 29日 令和3年度静岡県市町教育長研修会（藤枝市）〔教育長〕
- 30日 第1回総合教育会議（静岡庁舎）〔教育長・委員〕

◆8月の主な予定

- 5日 中央図書館リニューアルオープン記念式典〔教育長〕
- 23日 教育委員会定例会（清水庁舎）〔教育長・委員〕

議案第5号

令和4年度使用静岡市立の中学校用教科用図書の採択について

令和4年度使用 静岡市立の中学校用歴史教科用図書の採択について、次のとおり実施する。

令和3年7月26日提出

静岡市教育委員会
教育長 赤堀文宣
(教育委員会事務局教育局学校教育課)

記

- 1 内 容 別紙のとおり
- 2 提案理由 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条第6号の規定により、採択したく提案する

提案及び投票の方法について

提案

中学校歴史教科書採択替え審議及び投票について

審議

令和4年度使用の中学歴史の教科書採択について、見本本、令和3年度の県の調査研究報告書（自由社）と令和2年度の県の調査研究報告書（帝国）を基に審議を行った後、投票により決定する。

投票

帝国書院の教科書の使用を継続するか、自由社の教科書に採択替えするかのどちらかに投票する。

投票の流れ

- (1) 事務局が教育委員に投票用紙を配る
- (2) 教育委員は投票用紙に記入する（無記名）
- (3) 事務局は投票用紙を回収する
- (4) 教育調整監が開票する（職務代理者立ち合い）
- (5) 事務局は開票結果を集計用紙に記入する
- (6) 教育調整監は開票結果を発表する
- (7) 教育調整監は集計用紙を教育長にわたす
- (8) 教育長は投票の令和4年度使用教科書を発表する

投票用紙・集計用紙

※別紙2

可決の条件

- ・過半数を得た場合
過半数を得た教科書を採択する
- ・同数の場合
教育長が決定する（地方教育行政の組織及び運営に関する法律14条第4項）

令和 4 年度使用 中学校「歴史」教科書採択 投票用紙

発行者番号	発行者	教科書名	投票欄
4 6	帝国書院	中学生の歴史	
2 2 5	自由社	新しい歴史教科書	

※どちらかに○をつける

令和 4 年度使用 中学校「歴史」教科書採択

投票結果集計用紙

発行者番号	発行者	教科書名	得票数	採択結果
4 6	帝国書院	中学生の歴史	票	
2 2 5	自由社	新しい歴史教科書	票	

Ⅲ 調査研究内容の要約

自由社

1 内容

- (1) 見開きページごとに設けられた「チャレンジ」により、学習内容の深い理解と個別の知識の定着を図ることで、概念などに関する知識の獲得につながるよう工夫されている。
- (2) 「時代の特徴を考えるページ」では、時代の流れを整理する、各時代や人物を比較するなどの活動によって学習した時代を大観し、その特色を多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。
- (3) コラム「外の目から見た日本」では、当時の日本の文化や考え方を世界からの視点で客観的に捉えることで、我が国の文化や歴史に対する自覚と愛情が育まれるよう工夫されている。

2 組織・配列・分量

- (1) 単元の終わりにある「復習問題のページ」では、歴史的事象と地図を関連付ける活動を設定することにより、地理的分野とのつながりを意識して学習できるよう工夫されている。
- (2) 単元の始めに既習の歴史上の人物やその業績などを年表に示し、小学校での歴史学習とのつながりを意識できるようにすることで、見通しをもって自主的・主体的に学習を進められるよう工夫されている。

3 生徒の発達の段階への配慮

- (1) 巻末の特設ページ「日本の歴史の特色は何か」では、複数の視点から歴史的事象と現代社会を結び付けて考察できるようにすることで、今日的な課題を把握し意欲的に追究していけるよう工夫されている。
- (2) 史料を精選して大きく掲載するとともに、本文の記述を深め、歴史の見方のヒントを与える読み物を充実させることで、歴史的事象への理解が深まる手助けとなるよう工夫されている。

1 内容

- (1) 時代を大観するために必要な情報が集約された「タイムトラベル」を設け、習得した知識を活用して、その時代の特色を表す場面を探すなどの活動を行うようにすることで資料活用の技能を高めるとともに、理解が深まるよう工夫されている。
- (2) 特設ページ「歴史を探ろう」(全12テーマ)では、多面的・多角的な視点で捉えられるよう、社会的事象を為政者と民衆、勝者と敗者のように異なる立場で取り上げることで、思考力・判断力が高まるよう工夫されている。
- (3) 各時代の文化史のページを充実させ、日本の伝統や文化に対する愛情を育むよう工夫されている。また、コラム「地域史」(全18テーマ)を設け、中央の歴史だけでなく地域から歴史を見ることで、郷土への理解や愛情が深まるよう工夫されている。

2 組織・配列・分量

- (1) 過去の人々の取組を紹介したコラム「未来に向けて」に「SDGs」マークを付け、持続可能な開発目標との関わりを明確にすることにより、今日的な課題へ目を向けて発展的に学習できるよう工夫されている。
- (2) 各時代の人々の暮らしを把握できるように、「タイムトラベル」を設けたり、学習の流れ(単元の問い、見開きページの学習課題、単元の振り返り)を示したりすることで、自主的・主体的に学習を進められるよう工夫されている。

3 生徒の発達の段階への配慮

- (1) コラム「未来に向けて」を設け、「江戸のごみを利用した農業」「日本での選挙の始まり」など、歴史的事象を環境や人権などの現代の諸問題につなげ、意欲的に学習できるよう工夫されている。
- (2) 12時代を表したイラスト「タイムトラベル」を通して、興味や関心を高められるよう工夫されている。また、見開きページの右に年表が表記され、常に時間軸を意識しながら学習を進められるよう工夫されている。

議案第6号

令和4年度使用静岡市立の高等学校用教科用図書の採択について

令和4年度使用静岡市立の高等学校用教科用図書を、次のとおり採択する。

令和3年7月26日提出

静岡市教育委員会
教育長 赤堀文宣
(教育委員会事務局教育局教育総務課)

記

- 1 内 容 別紙のとおり
- 2 提案理由 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条第6号の規定により、静岡市立の高等学校が使用する教科用図書を採択したく提案する。
なお、この教科用図書は、静岡市立の各高等学校長から提出された「採択希望教科書」の内申に基づいている。

令和4年度 教科用図書採択一覧表（案）

1 静岡市立高等学校(普通科)

*備考欄の○印は前年度に購入済みのもの

*色つきの部分は令和3年度使用教科書から変更されたもの

No	教科	学年	発行者	記号	番号	書名	備考
1	国語	1	数研	現国	708	現代の国語	
2		1	数研	言文	707	言語文化	
3		2	東書	現B	322	精選現代文B	
4		2	東書	古B	330	精選古典B 新版	
5		3	東書	現B	322	精選現代文B	○
6		3	東書	古B	330	精選古典B 新版	○
7	地理歴史	1	帝国	地総	703	高等学校 新地理総合	
8		1	山川	歴総	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える	
9		1	帝国	地図	702	新詳高等地図	
10		2	山川	世B	310	詳説世界史 改訂版	
11		2	山川	日A	311	日本史A 改訂版	
12		2	山川	日B	309	詳説日本史 改訂版	
13		2	帝国	地B	304	新詳地理B	
14		2	帝国	地図	310	新詳高等地図	
15		3	山川	世B	310	詳説世界史 改訂版	○
16		3	山川	日B	309	詳説日本史 改訂版	○
17		3	帝国	地B	304	新詳地理B	○
18		3	帝国	地図	310	新詳高等地図	○
19	数学	1	数研	数I	717	NEXT 数学I	
20		1	数研	数A	717	NEXT 数学A	
21		1	数研	数II	713	NEXT 数学II	
22		2	数研	数II	328	改訂版 高等学校 数学II	○
23		2	数研	数B	326	改訂版 高等学校 数学B	
24		2	数研	数III	323	改訂版 高等学校 数学III	
25		3	数研	数III	323	改訂版 高等学校 数学III	○

N o	教 科	学年	発行者	記号	番号	書 名	備考
26	理 科	1	東書	物基	701	物理基礎	
27		1	啓林館	化基	706	高等学校 化学基礎	
28		2	第一	物理	316	高等学校 改訂 物理	
29		2	啓林館	化学	312	化学 改訂版	
30		2	数研	生基	316	改訂版 生物基礎	
31		2	数研	生物	310	改訂版 生物	
32		3	第一	物理	316	高等学校 改訂 物理	○
33		3	啓林館	化学	312	化学 改訂版	○
34		3	数研	生物	310	改訂版 生物	○
35	保健体育	1	大修館	保体	701	現代高等保健体育	
36		2	大修館	保体	304	現代高等保健体育改訂版	○
37	芸 術	1	教芸	音 I	703	MOUSA 1	
38		1	日文	美 I	702	高校生の美術 1	
39		1	東書	書 I	701	書道 I	
40		3	教芸	音 II	310	MOUSA 2	
41		3	日文	美 II	304	高校生の美術 2	
42		3	東書	書 II	305	書道 II	
43	外国語	1	東書	C I	703	ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I	
44		1	桐原	論 I	714	FACTBOOK English Logic and Expression I	
45		2	桐原	コ II	353	PRO-VISION English Communication II New Edition	
46		2	数研	英 II	324	Revised POLESTAR English Expression II	
47		3	桐原	コ III	347	PRO-VISION English Communication III New Edition	
48		3	数研	英 II	324	Revised POLESTAR English Expression II	○
49	家 庭	2	東書	家基	311	家庭基礎 自立・共生・創造	
50	情 報	1	実教	情 I	705	最新情報 I	
51		2	実教	情科	307	最新情報の科学 新訂版	○

2 静岡市立高等学校(科学探究科)

*備考欄の○印は前年度に購入済みのもの

*色つきの部分は令和3年度使用教科書から変更されたもの

N o	教 科	学年	発行者	記号	番号	書 名	備考
1	国 語	1	数研	現国	708	現代の国語	
2		1	数研	言文	707	言語文化	
3		2	東書	現B	322	精選現代文B	
4		2	東書	古B	330	精選古典B 新版	
5		3	東書	現B	322	精選現代文B	○
6		3	東書	古B	330	精選古典B 新版	○
7	地理歴史	1	帝国	地総	703	高等学校 新地理総合	
8		1	山川	歴総	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える	
9		1	帝国	地図	702	新詳高等地図	
10		2	帝国	地B	304	新詳地理B	
11		2	帝国	地図	310	新詳高等地図	
12		3	帝国	地B	304	新詳地理B	○
13		3	帝国	地図	310	新詳高等地図	○
14	公 民	1	実教	公共	704	公共	
15	保健体育	1	大修館	保体	701	現代高等保健体育	
16		2	大修館	保体	304	現代高等保健体育改訂版	○
17	芸 術	1	教芸	音 I	703	MOUSA 1	
18		1	日文	美 I	702	高校生の美術 1	
19		1	東書	書 I	701	書道 I	

N o	教 科	学年	発行者	記号	番号	書 名	備考
20	外国語	1	東書	C I	703	ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I	
21		1	桐原	論 I	714	FACTBOOK English Logic and Expression I	
22		2	桐原	コ II	353	PRO-VISION English Communication II New Edition	
23		2	数研	英 II	324	Revised POLESTAR English Expression II	
24		3	桐原	コ III	347	PRO-VISION English Communication III New Edition	
25		3	数研	英 II	324	Revised POLESTAR English Expression II	○
26	家 庭	2	東書	家基	311	家庭基礎 自立・共生・創造	
27	情 報	1	実教	情 I	705	最新情報 I	
28	理 数	1	数研	数 I	717	N E X T 数学 I	
29		1	数研	数 A	717	N E X T 数学 A	
30		1	数研	数 II	713	N E X T 数学 II	
31		2	数研	数 II	328	改訂版 高等学校 数学 II	○
32		2	数研	数 B	326	改訂版 高等学校 数学 B	
33		2	数研	数 III	323	改訂版 高等学校 数学 III	
34		3	数研	数 III	323	改訂版 高等学校 数学 III	○
35		1	東書	物基	701	物理基礎	
36		1	啓林館	化基	706	高等学校 化学基礎	
37		2	数研	物理	314	改訂版 総合物理 1 力と運動・熱	○
38		2	数研	物理	315	改訂版 総合物理 2 波・電気と磁気・原子	○
39		2	啓林館	化学	312	化学 改訂版	
40		2	数研	生基	316	改訂版 生物基礎	
41		2	数研	生物	310	改訂版 生物	

3 静岡市立清水桜が丘高等学校(普通科)

*備考欄の○印は前年度に購入済みのもの

*色つきの部分は令和3年度使用教科書から変更されたもの

N.º	教科	学年	発行者	記号	番号	書名	備考
1	国語	1	東書	現国	702	精選現代の国語	
2		1	東書	言文	702	精選言語文化	
3		2	東書	現B	322	精選現代文B	
4		2	第一	古B	352	高等学校 改訂版 古典B	
5		3	東書	現B	322	精選現代文B	○
6		3	第一	古B	352	高等学校 改訂版 古典B	○
7	地理歴史	1	帝国	地図	702	新詳高等地図	
8		2	東書	世A	310	世界史A	
9		2	山川	世B	310	詳説世界史 改訂版	
10		2	第一	日A	312	高等学校 改訂版 日本史A 人・暮らし・未来	
11		2	山川	日B	309	詳説日本史 改訂版	
12		2	帝国	地B	304	新詳地理B	
13		2	帝国	地図	310	新詳高等地図	○
14		3	山川	世B	310	詳説世界史 改訂版	○
15		3	山川	日B	309	詳説日本史 改訂版	○
16		3	帝国	地B	304	新詳地理B	○
17		3	帝国	地図	310	新詳高等地図	○
18	公民	1	第一	公共	711	高等学校 新公共	
19		3	実教	倫理	312	高校倫理 新訂版	
20		3	実教	政経	312	高校政治・経済 新訂版	
21	数学	1	数研	数I	717	NEXT 数学I	
22		1	数研	数A	717	NEXT 数学A	
23		1	数研	数II	713	NEXT 数学II	
24		2	数研	数II	329	改訂版 新編 数学II	○
25		2	数研	数B	327	改訂版 新編 数学B	
26		2	数研	数III	324	改訂版 新編 数学III	
27		3	数研	数III	324	改訂版 新編 数学III	○

No	教科	学年	発行者	記号	番号	書名	備考
28	理科	1	数研	物基	707	物理基礎	
29		1	第一	生基	710	高等学校 生物基礎	
30		2	数研	物理	313	改訂版 物理	
31		2	実教	化基	315	化学基礎 新訂版	
32		2	実教	化学	310	化学 新訂版	
33		2	数研	生物	310	改訂版 生物	
34		3	数研	物理	313	改訂版 物理	○
35		3	東書	化学	308	改訂 化学	○
36		3	数研	生物	310	改訂版 生物	○
37	保健体育	1	大修館	保体	702	新高等保健体育	
38		2	大修館	保体	304	現代高等保健体育改訂版	○
39	芸術	1	友社	音 I	704	ON! 1	
40		1	日文	美 I	702	高校生の美術 1	
41		1	光村	書 I	705	書 I	
42	外国語	1	数研	C I	716	BIG DIPPER English Communication I	
43		1	増進堂	論 I	713	MAINSTREAM English Logic and Expression I	
44		2	数研	コ II	341	Revised BIG DIPPER English Communication II	
45		2	増進堂	英 I	334	MAINSTREAM English Expression I Second Edition	
46		3	啓林館	コ III	335	Revised LANDMARK English Communication III	
47		3	増進堂	英 II	327	MAINSTREAM English Expression II Second Edition	
48	家庭	1	東書	家基	701	家庭基礎 自立・共生・創造	
49		3	実教	家庭	311	子どもの発達と保育 新訂版	
50	情報	1	実教	情 I	705	最新情報 I	

4 静岡市立清水桜が丘高等学校(商業科)

*備考欄の○印は前年度に購入済みのもの

*色つきの部分は令和3年度使用教科書から変更されたもの

N.º	教科	学年	発行者	記号	番号	書名	備考
1	国語	1	東書	現国	702	精選現代の国語	
2		1	東書	言文	702	精選言語文化	
3		2	大修館	国表	307	国語表現 改訂版	
4		2	東書	現B	322	精選現代文B	
5		3	東書	現B	322	精選現代文B	○
6	地理歴史	1	帝国	地図	702	新詳高等地図	
7		2	帝国	地B	304	新詳地理B	
8		2	帝国	地図	310	新詳高等地図	○
9		3	山川	世B	310	詳説世界史 改訂版	
10		3	山川	日B	309	詳説日本史 改訂版	
11	公民	1	第一	公共	711	高等学校 新公共	
12	数学	1	数研	数I	715	最新 数学I	
13		2	数研	数A	329	改訂版 新編 数学A	
14	理科	1	第一	生基	710	高等学校 生物基礎	
15		3	第一	科人	309	高等学校 改訂 科学と人間生活	
16	保健体育	1	大修館	保体	702	新高等保健体育	
17		2	大修館	保体	304	現代高等保健体育改訂版	○
18	芸術	1	友社	音I	704	ON! 1	
19		1	日文	美I	702	高校生の美術1	
20		1	光村	書I	705	書I	
21	外国語	1	数研	C I	716	BIG DIPPER English Communication I	
22		1	増進堂	論I	713	MAINSTREAM English Logic and Expression I	
23		2	数研	コII	341	Revised BIG DIPPER English Communication II	
24		3	啓林館	コIII	335	Revised LANDMARK English Communication III	
25		3	増進堂	英I	334	MAINSTREAM English Expression I Second Edition	

N.º	教科	学年	発行者	記号	番号	書名	備考
26	家庭	2	東書	家総	307	家庭総合 自立・共生・創造	
27		3	東書	家総	307	家庭総合 自立・共生・創造	○
28		3	実教	家庭	311	子どもの発達と保育 新訂版	
29	商業	1	実教	商業	701	ビジネス基礎	
30		1	実教	商業	709	新簿記	
31		1	実教	商業	716	情報処理 Prologue of Computer	
32		2	実教	商業	345	ビジネス実務 新訂版	
33		2	東法	商業	337	マーケティング 新訂版	
34		2	実教	商業	325	広告と販売促進	
35		2	実教	商業	338	新簿記 新訂版	○
36		2	実教	商業	347	新財務会計 I 新訂版	
37		2	実教	商業	350	原価計算 新訂版	
38		2	実教	商業	342	情報処理 新訂版	○
39		2	実教	商業	352	ビジネス情報 新訂版	
40		2	東法	商業	359	電子商取引 新訂版	
41		2	実教	商業	324	最新プログラミング	
42		3	実教	商業	345	ビジネス実務 新訂版	
43		3	東法	商業	355	経済活動と法 新訂版	
44		3	東法	商業	359	電子商取引 新訂版	
45		3	実教	商業	324	最新プログラミング	
46		3	実教	商業	333	ビジネス情報管理	

令和4年度静岡市立の高等学校における教科用図書採択事務要領（抜粋）

1 基本方針等

- (1) 静岡市立の各高等学校が使用する教科用図書の採択については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号により、静岡市教育委員会がこれを行う。
- (2) 静岡市教育委員会は、各高等学校長から提出された令和4年度採択希望教科書の内申を参考に採択する。
- (3) 各学校において、来年度使用予定の教科用図書（採択希望教科書）を選択するにあたっては、教育課程の編成、生徒の能力、適性、進路希望等について十分配慮するとともに、公正、慎重に行われるよう配慮する。

2 事務処理等の基本手順

- (1) 各学校は、校長を委員長とし、副校長、教頭、教務主任、教科主任、その他校長が必要と認める職員を委員とする教科用図書選択委員会を組織する。
- (2) 校長は、教科用図書選択委員会の協議を参考に、令和4年度採択希望教科書を決定する。
- (3) 校長は、(2)の決定に基づき、「令和4年度使用教科書採択内申書」により、令和3年6月25日（金）までに静岡市教育委員会に内申する。
- (4) 校長は静岡市教育委員会からの採択通知を収受後、使用教科書一覧表を作成し、令和3年7月29日（木）までに、静岡市教育委員会に提出する。
指定したホームページ（アドレスは追って連絡する。）から入力ファイル及びマニュアルを、各学校においてダウンロードして作成する。

報告第4号

委員の解嘱及び解任並びに委嘱及び任命について（静岡市社会教育委員）

静岡市社会教育委員の解嘱及び解任並びに委嘱及び任命について専決したので、次のとおり報告する。

令和3年7月26日提出

静岡市教育委員会
教育長 赤堀文宣
(教育委員会事務局教育局教育総務課)

記

- 1 報告理由 任期満了により、静岡市社会教育委員について、次のとおり解嘱及び解任並びに委嘱及び任命した。
- 2 根拠法令 (1) 社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条第1項及び第2項
(2) 静岡市社会教育委員条例（平成15年静岡市条例第207号）第3条

3 解嘱及び解任する者

選出区分	氏名	職業・役職	在職年数	委嘱回数
学識 経験者	しぶえ 渋江 かさね	静岡大学 学院院教育学領域 准教授	6	3
学識 経験者	つのがえ 角替 ひろき	静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	4	2
学識 経験者	おだ 小田 ようすけ 庸介	株式会社するーらいふ 編集長	6	3
学識 経験者	すずき 鈴木 まもる 守	常葉大学 教育学部 准教授	2	1

学識 経験者	まつした みつえ 松下 光恵	NPO 法人男女共同参画フォーラム しずおか 代表理事	6	3
学校教育 関係者	まつなが ひろひさ 松永 浩久	静岡市立清水興津中学校長	0	1
学校教育 関係者	おざわ みか 小澤 美加	静岡市立南藁科小学校長	0	1
社会教育 関係者	うんの としひこ 海野 俊彦	静岡市文化協会 副会長	4	2
社会教育 関係者	ごみ きょうこ 五味 響子	静岡市番町市民活動センター センター長	4	2
社会教育 関係者	ほった ひとし 堀田 仁司	公益財団法人静岡市体育協会 専務理事	0	1
家庭教育 関係者	つかもと ひさよ 塚本 尚代	静岡市PTA連絡協議会 副会長	2	2
家庭教育 関係者	たき かずこ 瀧 和子	NPO 法人バディプロジェクト 代表理事	4	2

4 解嘱及び解任日 令和3年6月30日

5 委嘱及び任命する者

選出区分	氏名	職業・役職	在職 年数	委嘱 回数
学識 経験者	つのがえ ひろき 角替 弘規	静岡県立大学 食品栄養科学部 教授	4	3
学識 経験者	すずき まもる 鈴木 守	常葉大学 教育学部 教授	2	2
学識 経験者	しまだ けいご 島田 桂吾	静岡大学 教育学部 准教授	0	新
学校教育 関係者	まつなが ひろひさ 松永 浩久	静岡市立清水興津中学校長	0	2

学校教育 関係者	おざわ みか 小澤 美加	静岡市立南藁科小学校長	0	2
社会教育 関係者	やまもと ゆか 山本 由加	認定NPO法人しずおか環境教育研究会 理事 長	0	新
社会教育 関係者	ごみ きょうこ 五味 響子	静岡市番町市民活動センター センター長	4	3
社会教育 関係者	たけかわ みえ 竹川 美江	統括的な地域学校協働活動推進員	0	新
家庭教育 関係者	つかもと ひさよ 塚本 尚代	静岡市PTA連絡協議会 副会長	2	3

6 委嘱及び任命日 令和3年7月1日

7 委嘱及び任命期間 令和3年7月1日から令和5年6月30日まで

報告第5号

静岡市スポーツ推進審議会からの答申について

諮問事項「スポーツ・イン・ライフの実践によるスポーツ実施率の向上」について答申を受けたので、次のとおり報告する。

令和3年7月26日提出

静岡市教育委員会
教育長 赤堀文宣
(観光交流文化局スポーツ振興課)

記

- 1 内 容 別紙答申書のとおり
- 2 報告理由 令和元年11月6日付け静岡市教育委員会からの諮問事項「スポーツ・イン・ライフの実践によるスポーツ実施率の向上」について、令和3年6月22日付け静岡市スポーツ推進審議会から答申を受けたので報告する。

令和3年7月28日

静岡市教育委員会 様

静岡市スポーツ推進審議会

会長 木宮 敬信

「スポーツ・イン・ライフの実践によるスポーツ実施率の向上」

について（答申）

2020年（令和2年）は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、人々は生活のありようを大きく変えることとなった。スポーツにおいても、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が延期され、各競技の実施方法のみならず観戦方法などにも大きな影響を与えた。この感染症により、スポーツの在り方を再考する転換期が訪れている。

本市は、2015年3月（平成27年3月）に、2022年度（令和4年度）までの8年間のスポーツ推進の方向性を定めた「静岡市スポーツ推進計画（以下「スポーツ推進計画」という。）」を策定し、2019年3月（平成31年3月）に、計画前半の取組を踏まえた改定を行った。この改定の柱は、スポーツの定義を広げ、新たな概念である「スポーツ・イン・ライフ」を推進することである。

静岡市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）は、令和元年11月に静岡市教育委員会より「スポーツ・イン・ライフの実践によるスポーツ実施率の向上」について諮問を受け、ポストコロナを見据え、市民生活と調和する実行性の高い方策を審議してきた。

これまでの審議会での議論を踏まえ、「スポーツ・イン・ライフの実践によるスポーツ実施率の向上」について提言する。

1 スポーツ推進計画の現状

スポーツ推進計画では、「市民一人1スポーツ」を目標に「人」に着目して、「観る」・「する」・「支える」という3つの視点で施策を実行するとともに、これらを好循環させることにより、市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができるような事業を登載している。平成27年度から平成30年度までの前期計画では、ほぼ全ての事業を計画どおりに実施した。後期計画に向けたスポーツ推進計画の改定に際して、平成30年にスポーツに関する市民意識調査を行った。

その結果、スポーツ推進計画の成果指標である成人の週1回以上のスポーツ実施率は56.7%であり、前回調査（平成25年）の50.7%から6%上昇したものの、指標における目標値である68%には、さらに11.3%の上昇が必要であることが明らかになった。性別や年齢で分析すると、特にスポーツ実施率が低い世代は、男性では30代、女性では20代から40代であった。また、スポーツを「全くしない」人の割合は全世代を通して女性が多かった。

これを受け、平成31年3月のスポーツ推進計画の改定では、全世代のスポーツ実施率の底上げを図るため「スポーツ・イン・ライフの推進」を柱とした。

「スポーツ・イン・ライフ」とは、スポーツの定義を生活活動を含めた身体活動まで広げ、スポーツが生活の中にとけ込み、それぞれの体力や年齢、ライフスタイル等に応じて日常的に親しまれている状態である。また、世代ごとに細分化した取り組みを強化し、スポーツ習慣化促進事業など日常にスポーツを取り入れる啓発事業を新規で登載した。

2 「スポーツ・イン・ライフ」の更なる理解について

市民のスポーツ実施率向上を図るため、これまではスポーツとして捉えていなかった軽い運動や生活活動もスポーツとして捉える「スポーツ・イン・ライフ」の概念を浸透させるということが有効であると考え。そのためには、こ

れまで以上に市民への広報が必要であり、スポーツ以外の施設やイベントで「スポーツ・イン・ライフ」に関する情報提供の仕組みづくりが重要となる。

3 「スポーツ・イン・ライフ」の更なる推進について

この「スポーツ・イン・ライフ」の実践によりスポーツ実施率を向上させるためには、世代ごとの取組だけではなくスポーツに対する関心の度合いにより、きめ細やかなアプローチをする必要がある。審議会では、スポーツに対する関心度を「関心層」「中間層」「無関心層」の3つの階層に分け、かつ特にスポーツ実施率の低い世代に着目し、各階層に対するアプローチ方法について、活発な意見交換を行った。その結果を踏まえ、各世代及び各階層に対する取り組みとして次のとおり提言する。

関心の度合いによる各階層を以下のように定義する。

ア「関心層」…「週一回以上スポーツをする人」

イ「中間層」…「週一回はしないが定期的にスポーツをする人」

ウ「無関心層」…「まったくスポーツをしない人」

関心層では「働きはじめ世代（20代）」、中間層及び無関心層では「働きざかり世代・子育て世代（30代から50代）」に着目した。

(1) 「関心層」に対する取り組み

関心層が抱える課題や傾向として、生活環境の変化によりスポーツを行わなくなる可能性があることや一緒にスポーツに取り組む仲間がいないことによりモチベーションが維持できないことが挙げられる。

課題や傾向に対し審議会委員から、スポーツを行う上での施設の確保などの手続きを簡略化することや、仲間作りを促す環境づくりが必要であるという意見が出たことを踏まえ、次のとおり意見する。

- ・市や公益財団法人静岡市体育協会などが行っているイベントや教室などを世代や興味に合わせて提案するシステムの構築
- ・一緒にスポーツをする仲間を見つけられる、スポーツ専用のマッチングアプリの開発
- ・部活動終了後も後輩の指導に携わることのできるシステム構築
- ・スポーツに対するモチベーション維持のため、大会等での活躍の様子を市が広報、発信

(2) 「中間層」に対する取り組み

中間層が抱える課題や傾向として、生活の中でスポーツの優先度が低いことや、ビジネス世代・子育て世代では仕事だけでなく、家庭での家事や育児等もあり、スポーツのために新たな時間を作ることが困難であることが挙げられる。

課題や傾向に対し審議会委員から、通勤や家事や育児などの生活活動上にスポーツを取り入れる、スポーツをすることによりインセンティブを与えるという意見が出たことを踏まえ、下記のとおり意見する。

- ・その日に行った生活活動を登録することで、消費カロリーを可視化でき、インセンティブのあるアプリの開発
- ・家事等をしながらできる「ながら運動」の紹介
- ・市民に歩数計を配布し、歩数に応じたインセンティブを付与する事業

(3) 「無関心層」に対する取り組み

無関心層が抱える課題や傾向として、各世代でスポーツ自体に興味がなく、スポーツ以外にやることがある、年齢的にスポーツによる健康維持の必要がない、スポーツをすることに価値を見いだせない、などがあげられる。

課題や傾向に対し審議会委員から、特定のターゲットを狙い、スポーツへの興

味を促す付加価値をつけた事業の実施などの意見が出たことを踏まえ、下記のとおり意見する。

- ・無関心層がスポーツ以外に関心がある事柄を年代別で分析を行い、その関心に沿った事業の展開
- ・婚活や歴史文化を絡めるといった、特定の分野と関連づけたスポーツイベントの企画
- ・企業と連携しスポーツ専用アプリを開発
- ・「スポーツ・イン・ライフ」の長期的な周知につなげるため、学校教育での「スポーツ・イン・ライフ」の啓発
- ・障がい者、高齢者、性別などによらない共通して全ての人が実施できる事業

4 「観る」「支える」スポーツの推進

市民のスポーツ実施率向上のためには、プロスポーツ観戦等による「観る」スポーツで関心を持ち、「する」スポーツで実際に体験し、大会運営等の「支える」スポーツで充実感を味わってもらうとともに、この3つを好循環させることが必要となる。

まず「観る」スポーツでは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、スポーツ自体への関心が高まることが期待されることから、オリンピック開催期間だけの一過性の関心で終わらせないための仕組み作りが必要となる。

「支える」スポーツでは、ボランティア活動への参加によりスポーツへの関心度が深まることが期待される。しかし、スポーツボランティアの潜在的な参加希望はあるものの、参加率は低迷している。参加のきっかけをつくる、また継続して活動できる場を提供することが必要となる。

そして、「観る」「支える」スポーツに携わっていた人を、いかに「する」スポーツに繋げていくかが重要である。

5 コロナ禍及びポストコロナにおけるスポーツについて

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、外出を自粛する期間が増加した結果、運動不足やストレスから、心身に悪影響をきたす健康二次被害が懸念される。スポーツは心身の健康増進に大きな役割を担っており、身体面における効能として生活習慣病等の疾病にかかるリスクの軽減や病状の改善、筋力などの維持・向上等が知られている。また、精神・心理面においてもストレス解消によるメンタルヘルス改善に向けた効果が挙げられる。

スポーツ庁が実施した令和2年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」によると、全国の成人の週1日以上スポーツ実施率は59.9%で、令和元年度の53.6%から6.3%上昇した。スポーツ実施の頻度が増えた回答者にその理由を聞くと、「新型コロナウイルス感染症による日常生活の変化」が36.4%で、一番の要因となっている。

この結果からも新型コロナウイルス感染症による健康志向の高まりは明らかであり、これを受けた施策の充実が求められている。

審議会では、スポーツ実施率の低いライフステージの各関心度に応じた取り組みについて提言したが、ポストコロナにおいて、これらを柔軟かつ着実に実行していくためには、市だけではなく、市のパートナーである公益財団法人静岡市体育協会、公益財団法人静岡市まちづくり公社との緊密な連携及び総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員等のスポーツ関係者との協働が不可欠である。また、民間企業が開発したアプリの活用やスポーツ先進都市の事例など、コロナ禍において、すでに効果が認められている事業を市民に周知することが、スポーツ実施率の向上に寄与するものと考えられる。

6 まとめ

それぞれ異なる価値観の中で生活をしている人の行動を変容させることは非常に困難である。人がノベルティーやペナルティをきっかけとするのではなく、

自発的に行動することが重要であり、それをどのように促すのかが今後の課題となる。「スポーツを実施したら、どれだけよいことがあるのか」といったスポーツが持つ効果、価値を理解してもらうことが必要となるだろう。

スポーツ実施率向上の観点から、スポーツ無関心層への働きかけは重要であり、小さなきっかけが大きな関心へとつながる可能性は十分にある。「スポーツ・イン・ライフ」を身近なものとし、一般的な「スポーツ」と「生活活動」との認識のずれをなくすことが、「スポーツ・イン・ライフの実践によるスポーツ実施率の向上」につながるものと考えられる。

静岡市スポーツ推進審議会長 様

静岡市教育委員会
(観光交流文化局スポーツ振興課)

静岡市スポーツ推進審議会における審議について (諮問)

静岡市スポーツ推進審議会に、下記の事項について諮問します。

記

1 諮問事項

『スポーツ・イン・ライフの実践によるスポーツ実施率の向上』

平成31年3月、貴審議会の審議を踏まえ、平成27年度から令和4年度までの8年間の計画である静岡市スポーツ推進計画の改定を実施しました。改定の主旨は、運動・スポーツの捉え方の意識改革を行う取り組みを強化し、市民一人ひとりがスポーツをすることを特別なことと捉えず、スポーツが生活の中にとけ込み、それぞれの体力や年齢、ライフスタイル等に応じて日常的に親しまれている「スポーツ・イン・ライフ」を実践することにより、スポーツの実施率の向上に繋げることです。

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動です。

本計画では、成人の週1回以上のスポーツの実施率を68%とする目標を掲げていますが、現状は56.7%であり、目標を達成するには、新たに8万人の市民がスポーツに親しむことが必要となります。

スポーツの実施率の飛躍的な向上には、スポーツに無関心であった人、したくてもできなかった人に対して重点的に「スポーツ・イン・ライフ」の観点から諸方策を検討し、スポーツ推進計画へ反映させる必要があります。

については、「スポーツの推進による健康で豊かな生活の実現」を図るため、スポーツの実施率の向上に繋がるよう、上記諮問事項について、ご提言をお願い申し上げます。

静岡市スポーツ推進審議会

任期 令和元年8月18日～令和3年8月17日

(区分ごと・敬称略)

No		区分	氏名	所属・役職等
1	会長	学識経験者	木宮 敬信 きみや たかのぶ	常葉大学教育学部生涯学習学科 教授
2	副会長	関係行政 機関職員	片岡 佳美 かたおか よしみ	静岡県立富士特別支援学校 副校長
3	委員	学識経験者	村田 真一 むらた しんいち	国立大学法人静岡大学教育学部 准教授
4	委員	学識経験者	遠藤 知里 えんどう ちさと	常葉大学短期大学部保育科 准教授
5	委員	学識経験者	青木 秀剛 あおき よしたけ	一般社団法人 静岡市清水医師会 青木内科クリニック
6	委員	関係行政 機関職員	柴田 貴雄 しばた たかお	静岡市校長会 静岡市中学校体育連盟 会長 静岡市立清水第二中学校 校長
7	委員	関係行政 機関職員	片桐 晶子 かたぎり まさこ	小学校体育指導者 静岡市立清水中河内小学校 教諭
8	委員	関係行政 機関職員	望月 勇志 もちづき ゆうじ	高校部活動指導者 静岡市立高等学校 教諭
9	委員	スポーツ団体 代表者	今泉 幸広 いまいづみ ゆきひろ	プロスポーツ指導者 株式会社エスパルス 地域事業本部 教育事業部 ヘッドオブコーチング
10	委員	スポーツ団体 代表者	内川 麻衣子 うちかわ まいこ	総合型地域スポーツクラブ NPO法人ピュアスポーツクラブ 理事長
11	委員	スポーツ団体 代表者	中地 良成 なかつち よしなり	公益財団法人静岡市体育協会 参事兼主幹
12	委員	スポーツ団体 代表者	小田 きみえ おだ きみえ	スポーツ推進委員 静岡市スポーツ推進委員連絡協議会 評議員 清水区スポーツ推進委員会 副委員長
13	委員	市民	岩田 正直 いわた まさなお	公募委員
14	委員	市民	大橋 敏弘 おおはし としひろ	公募委員
15	委員	市民	望月 友葉 もちづき ともは	公募委員

R2～3年度 スポーツ振興課 スポーツ・イン・ライフ関連事業

スポーツ・イン・ライフとは・・・

競技スポーツだけでなく、日常において意識的に行う生活活動、例えば、通勤時の階段昇降やウォーキングなどの軽運動もスポーツであると定義し、スポーツが特別なものではなく、それぞれのライフスタイルに応じて日常生活の中にとけ込み、親しまれている状態を目指すものです。

コロナ禍の今こそ、「スポーツ・イン・ライフ」を積極的に実践することが、市民の皆さんの健康に対する意識を高め、心身の健康増進に繋がることとなります。



Sport in Life

1 スポーツ習慣化促進事業

【事業概要】

日常的に運動習慣を持たない働き盛り世代と中高齢者を対象としたスポーツの講座を開設し、継続的な運動習慣を持たせることによって健康状態などの改善を図る。

【実績】

- 第1期 令和2年9月4日から令和2年11月20日
会場：静岡市中央体育館
- 第2期 令和2年11月27日から令和3年3月5日※
※1月20日新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、以降の講座を中止
会場：常葉大学草薙キャンパス
- 時 間 毎週金曜日
午後7時～午後8時30分 各期 全12回
- 参加者数 第1期 17名 第2期 20人



2 SPORT IN LIFE 広告掲示

【事業概要】

「スポーツ・イン・ライフ」施策の広報のため、ジャパン・バスケットボールリーグ所属のベルテックス静岡の公式試合市内開幕に合わせてアリーナ内に広告を掲示。

【実績】

- 会場 静岡市立中央体育館アリーナ
- 期間 令和3年2月13日（土）
令和3年2月14日（日）
- 来場者数 合計 1,221人※
(13日 603人、14日 618人)
※ベルテックス静岡公式発表



3 アニマル×スポーツフェスティバル

【事業概要】

「スポーツ・イン・ライフ」の市民への啓発を図るため、日本平動物園と連携し、クイズラリーや「スポーツ体験イベント」などを実施。また5月16日(日)には、常葉大学と連携した「体力測定イベント」も実施

【実績】

- 会場 日本平動物園
- 期間 令和3年4月14日（水）～5月30日（日）
- 《スポーツ体験イベント》
会 場：日本平動物園 展望広場
期 間：4月14日（水）、18日（日）
5月12日（水）、15日（土）
午前10時～午後3時30分に実施
参加者数：4月14日（水） 84人
18日（日） 558人
5月12日（水） 52人
15日（土） 221人
- 《体力測定イベント》
会 場：日本平動物園 ビジターセンター
期 間：5月16日(日) 午前10時～午後3時まで
参加者数：44人



4 目指せスポーツ・イン・ライフ！「まちかど卓球♪」

【事業概要】

生活の中にスポーツを取り入れる
「スポーツ・イン・ライフ」の実現を図るため、
身近なスポーツと言われる「卓球」に着目し、
どなたでも利用できる卓球台を設置。

【実績】

- 会場 JR静岡駅北口地下情報発信コーナー しずチカ
- 期間 令和2年7月23日（木・祝）
～令和2年7月26日（日）
※26日の午後は、大雨警報に伴う避難勧告が
発令されたため中止
午前10時～午後7時
- コンテンツ
卓球台（1面）
「スポーツ・イン・ライフ」事業の取組紹介（パネル）
- 参加者実績 合計 250人



5 日常にスポーツを！「まちかど自転車♪」

【事業概要】

生活の中にスポーツを取り入れる「スポーツ・イン・ライフ」の実現を図るため、
「卓球」に続くまちかどスポーツ第2弾として、自転車を設置。

【実績】

- 会場 JR静岡駅北口地下広場イベントスペース
- 期間 令和3年2月20日（土）～23日（火祝）
午前10時～午後5時
- コンテンツ
 - ・自転車乗車体験【100mタイムトライアル】
（協力 静岡市公営競技事務所）
 - ・「スポーツ・イン・ライフ」事業の取組紹介
 - ①パネル ②軽運動動画（協力（公財）静岡市体育協会）
- 参加者数 合計 741人
（自転車乗車体験 121人 パネル展・写真展 620人）



6 まちかどボッチャ&ファミバド

【事業概要】

「卓球」、「自転車」に続くまちかどスポーツ第3弾として、
パラリンピック種目である「ボッチャ」と、
誰でも簡単にできるバドミントンとして
考案された「ファミリーバドミントン」の道具を使用した
体験会を実施。

【実績】

- 会場 JR静岡駅北口地下広場イベントスペース
- 期間 令和3年7月9日（金）～11日（日）
9日 午後5時～午後7時
10、11日 午前10時～午後5時
- コンテンツ
 - ・ボッチャ
 - ・ファミリーバドミントン
- 参加者数 合計 248人



静岡市スポーツ推進審議会等スケジュール（R3～R4）

区分	令和3年度												令和4年度												令和5年度										
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8						
スポーツ推進審議会	スポーツ推進審議会 R3～R5委員任期 →																																		
	8/17 現委員任期満了																																		
スポーツ推進審議会	R3年度6月 第1回審議会			R3年度11月 第2回審議会						R3年度2月 第3回審議会			R4年度6月 第1回審議会			R4年度10月 第2回審議会			R3年度2月 第3回審議会																
スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・答申書の最終確認 ・スポーツ推進計画の進捗報告 ・市民意識調査内容の審議 ・R3事業計画について 			<ul style="list-style-type: none"> ・新たな諮問事項の受領 ・審議会委員の委嘱 ・市民意識調査速報値の報告 						<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果報告 ・スポーツ推進計画の素案検討 ・補助金交付の意見聴取 			<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進計画（案）の検討 			<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進計画最終案の検討 			<ul style="list-style-type: none"> ・パブコメ実施報告 ・パブコメによる修正点の確認 																
教育委員会関係	(7/26定例会) 諮問「スポーツインライフの実践によるスポーツ実施率の向上」に対する 答申書報告			(8/23定例会) 新規委員選任報告			(11/2定例会) 新たな諮問事項の教育委員会 報告			残任期間の委嘱の報告 ※人事異動、退職等により 該当があれば実施			(協議会) スポーツ推進計画最終案について			(定例会) スポーツ推進計画の報告について																			
教育委員会関係	諮問「スポーツインライフの実践によるスポーツ実施率の向上」に対する 答申書 引き渡し															諮問に対する 答申書 引き渡し																			
市民意識調査関係	R3年7月下旬 市民意識調査 委託契約			R3年10月中旬 市民意識調査 速報値納入			R3年11月下旬 市民意識調査 結果報告															12月～1月(予定) パブリックコメント実施													
その他	国 第2期スポーツ基本計画(H29～R3) →																																		
	静岡県 スポーツ基本計画(H30～R3) →																																		
	静岡市 第3次総合計画(H27～R4) →																																		